

き、伝統文化・歴史・自然環境を活かした観光誘客の取り組みを推進してまいります。

市内においては、4月に旧伊計小学校を活用した広域通信制N高等学校が開校しました。スクーリングで訪れる生徒の宿泊や体験学習などを通して、島しょ地域の振興につなげるとともに、同校の持つ情報発信力に期待したいと思います。

また、3庁舎で行っていた業務を5月から西棟に統合し、市民サービスのさらなる向上に取り組んでおります。

9月には、発掘調査を進めていた世界遺産の勝連城跡から国内初の古代ローマ帝国とオスマン帝国の銅貨が出土し、大きな反響がありました。海外との交易で栄えた勝連城の歴史とロマンを感じさせる話題で、今後の歴史研究の進展に大きく寄与する重要な発見でした。



【17世紀のオスマン帝国のコイン】



【4世紀のローマ帝国のコイン】

10月には、第6回世界のウチナーンチュ大会が開催され、本市でも関連イベントとして「世界のうるまんちゅ交流事業」を実施しました。

世界各地から故郷「うるま」を訪問された多くの「うるまんちゅ」と市民が絆を深め、感動的な交流の場となりました。



【世界のうるまんちゅ交流事業】

2. 平成29年度の予算規模

次に、予算の概要についてご説明いたします。

平成29年度の予算編成については、「第2次うるま市総合計画・前期基本計画」及び「第13回実施計画」等を踏まえ、各施策の目標達成に取り組むとともに、「第3次行政改革大綱」に基づき

行財政改革の実施に努め、限られた財源を効果的に活用するべく枠配分方式を基本に予算編成を行っております。

その結果、本年度の一般会計予算は、525億7,864万8千円となり、前年度に比べ0.9%の増となっております。

また、特別会計予算などを含めた総予算額は、907億8,665万9千円になります。

なお、本市の一括交付金配分額は、14億2,300万円となっており、引き続き、同交付金を活用した各種事業に取り組んでまいります。

(参考)

| | |
|---------------------|-------------|
| (1)特別会計予算の内訳 | |
| ■国民健康保険特別会計 | 214億461万1千円 |
| ■公共下水道事業特別会計 | 27億175万7千円 |
| ■介護保険特別会計 | 94億5,613万円 |
| ■後期高齢者医療特別会計 | 9億2,432万1千円 |
| ■農業集落排水事業特別会計 | 2,097万6千円 |
| (2)公営企業会計 | |
| ■水道事業会計 | 37億21万6千円 |

3. 主要事業の概要

平成29年度は、次の10年のまちづくりを見据えた「第2次うるま市総合計画」がスタートする重要な年でもあります。

これまでの2期8年にわたるまちづくりを継続するとともに、今後のまち

づくりの指針となる「第2次うるま市総合計画」に掲げる6つの基本目標に沿って、主要事業の概要を説明いたします。

①「みんなで支えあう健やかなまちづくり」

高齢者福祉及び介護保険事業については、計画の最終年度となっている「うるま市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画」を継続して推進し、次期介護保険事業計画等の策定と、高齢者自身が健康の維持・増進や介護予防に取り組む、生きがいをもって社会参加できる仕組みを推進します。

健康づくりについては、民間事業者の経営ノウハウなどが活用できる指定管理者制度を4月から導入し、導入し、施設の機能を高め、さらなる市民の健康増進を図ります。

また、今年度新たに第2次「健康うるま21」を策定し、妊婦・乳幼児から高齢期に至るまで、母子保健事業、予防接種事業、健康増進事業などを実施します。

国保財政は医療費の伸びにより、一段と厳しい状況にあります。そのため、国保税の収納対策や医療費の適正化、特定健診の受診率向上と保健指導の強化等を図り、健全化に努めます。

さらに、平成30年度の広域化に向け